

臨床血液学

Clinical Hematology

生命：L1-10413MS

医療科目 4年／前期 1.5単位 選択科目

科目責任者 野澤 玲子(薬理学研究室)

■教育目的

血液の性状に加えて、各種の血液学的検査法の理論(知識)と実際の検査手技を理解するとともに(技能)、代表的な血液疾患の臨床に関する基礎的知識を習得して(知識)、検査技師や薬剤師として臨床に還元できるようになる(態度)。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標

1. 臨床血液学の基本を習得し、血液疾患の臨床における血液学的検査の病態的意義を理解できる(知識)
2. 臨床検査技師国家試験の問題が理解でき解答できるようになる(知識)
3. 薬剤の血液データへの影響と疾患による変化を鑑別できるようになる(知識、技能)

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスの授業内容に該当する参考書に目を通しておく。(10分)

復習：授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分で調べてみる。(30分)

■授業形態

講義

■授業内容

血液学の基本に加えて、検体採取法、取扱い方法、定性および定量検査、形態学的検査などの基本的事項や代表的な血液疾患の臨床に関する基礎についても講義する。

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	血液の基礎	血液の基礎、血球の機能と動態	C7(1)-⑭-1
2.3	血球の検査	血球計数に関する検査、血球形態の検査、細胞表面マーカー検査、	E1(2)-②-2
4～6	赤血球	赤血球の形態と機能、赤血球に関する臨床検査 赤血球系の異常と代表的な血液疾患(1) 赤血球系の異常と代表的な血液疾患(2)	E1(2)-②-2 E2(3)-②-3
7.8	白血球	白血球の形態と機能、白血球に関する臨床検査 白血球系の異常と代表的な血液疾患(1) 白血球系の異常と代表的な血液疾患(2)	E1(2)-②-2 E2(3)-②-5
9～11	造血器腫瘍	造血器腫瘍に関する臨床検査 代表的な造血器腫瘍)	E1(2)-②-2 E2(7)-⑧-5,6
12.13	血小板	血小板の形態と機能、血小板に関する臨床検査 血小板系の異常と代表的な血液疾患	E1(2)-②-2 E2(3)-②-4,5
14.15	血液凝固・線溶	血液凝固の機序、血液凝固に関する臨床検査 血液凝固の異常と代表的な血液疾患	C7(2)-⑧-1 E2(3)-②-4,5

■授業分担者

野澤 玲子(No.1～3、7～10、15)、望月 靖子(No.4～6、11～14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(90%)および課題(10%)で総合評価を行う。

■教科書

講義プリント

■参考書

『標準臨床検査学 血液検査学』(医学書院)

『血液検査学』(医歯薬出版株式会社)

『病気がみえる vol.5 血液』(メディックメディア)

『血液細胞ノート―形態速習アトラス』(文光堂)